



Title	序
Author(s)	矢島, 武
Citation	北海道大学農經會論叢, 15
Issue Date	1959-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/11296
Type	other
Note	松田武雄の肖像あり
File Information	15.pdf



[Instructions for use](#)



松田武雄先生

序

北海道大学教授農学博士松田武雄先生は昭和三十三年で在職満三十五年をむかえられました。われわれは、かねがね、先生の多年に亘る御薫陶と御貢献に対し心からなる謝意をささげ、かつ先生の御健勝をお慶び申し上げたいと望んでいましたが、このたび先生がその創始者の一人であられた北海道大学法経会の後身農経会の同人一同相はかつて、先生の在職三十五年記念論文集を刊行いたしました。ささやかなものですがわれわれの微意をお受けいただきたいと思います。

先生は、大正十一年北海道帝国大学農学部農業経済学科を御卒業になり、直ちに助手となられました。当時の農経にはドイツ的学風を代表される高岡博士、最もアメリカ的といわれた森本博士の両先生が学界の重鎮としてひかえておられました。先生はこの両博士からドイツ的なのとアメリカ的なのをよく吸収摂取され先生の学風の基礎を作られました。その後間もなく先生はアメリカに留学され主としてイリー先生の下で、土地経済学を、又ドイツでは主としてゼーリング先生の下で農政学を研究されました。先生はこの留学によつて高岡、森本両先生から受け継がれたものを更に磨き深められました。

先生の手がけられた分野は極めて広く、経済原論の基礎的な部分、例えば、価値論—プラグマティッ

ク経済学のプロレゴメナーのようなものから、財政学、農政学、土地経済学、消費経済学をして農業段階論や農村計画論のような農村社会学に関連する分野にまで及んでいます。これと関連し、北大で経済原論、財政学の講座を担任されたほか、農政学、農業協同組合論の講座を担任されています。更に北大工学部、小樽高商（現商大）、帯広畜大、弘前大、北海学園大などの講師を兼任され又しておられます。何れも先生の学問の幅の広さを示すものだと思います。先生は、又その稀な語学的才能を駆使され、海外的新しい学説や学界の動向をいち早くキャッチされ、われわれを指導誘掖して下さいました。例えばオプライエンの農業経済学を訳出、紹介されたのは恐らく誰でも存じあげていることですが、ワーゲマンの景気変動論の如きを、まだわが学界が一般に問題にしない前に、われわれに紹介して下さいました。先生でした。

とは云え、先生の学風はどちらかといえば地味であり、むしろ寡作と申されましょう。しかし斯学の広い分野に亘つてよい新しい種子を沢山まかれました。これらの種子の一つ一つを育てあげて行くことが、われわれ後進に与えられた仕事だと思えます。幸に御加餐せられ、われわれのためながく指導誘掖を惜まれませんようお願いいたします。

一九五九年三月